

石川県には、数多くのNPOが活動しています。このコーナーでは、県内のNPOのリーダーにインタビューし、特色や現状などをシリーズで紹介しています。今回は、文化を軸としたまちづくり研究に取り組む、NPO法人金沢創造都市フォーラム代表の佐々木雅幸さんにお話をうかがいました。

シンポジウムの開催などを通し、金沢で創造都市の構築を進めていきたい

まちづくりや都市の発展の可能性を多様な角度から探る

金沢創造都市フォーラムの活動状況を教えてください。

佐々木 文化と産業が両立したまちづくりを進めるため、月1回、勉強会を開いています。現在、メンバーは25人で、福祉や交通、自然などテーマごとに5~6人ずつのグループに分かれ、さまざまな観点から研究に取り組んでいます。

活動を始めたきっかけは。

佐々木 石川県には素晴らしい伝統文化や自然が数多く残っています。そうしたものに地域住民が誇りを持つとともに全国に発信できたらと思い、平成7年から勉強会をスタートしました。メンバーは、私が金沢大学で長年教鞭をとっていたこともあって、大学と大学院での教え子たちが中心です。法人化は今年の4月に。メンバーの中に既にNPO活動に取り組んでいた者もあり、「いしかわ市民活動ネットワークセンター」の協力もあって、法人化をスムーズに行えました。

団体名にもあるように「金沢」が主な研究対象のようですね。

佐々木 ええ。金沢は歴史的・文化的個性が強く、市民芸術村や平成16年11月開館予定の金沢21世紀美術館など、市も新たな文化振興に積極的です。そんな金沢の魅力をさらに高めることができたらと考えています。金沢市のふらっとパス（コミュニティパス）導入の効果や白山麓のエコツーリズムの可能性の研究なども手掛けています。

金沢創造都市フォーラム主催のシンポジウムを開催しているそうですね。

佐々木 9月8日に、私たちが主催した初めてのシンポジウムを泉野図書館で開きました。市民の皆さんにまちづくりに対す



9月8日開かれたシンポジウムのパネルディスカッション

【NPOフォーラムのお知らせ】

テーマ/「創造性」による維持可能な地域づくり
—創造の場をつくりだすNPOの挑戦—

日 時/11月30日(土) 13:30~17:00

場 所/地場産業振興センター新館コンベンションホール

NPO法人金沢創造都市フォーラム代表 佐々木雅幸さん

る関心を持ってもらうのがねらいです。さらに11月30日には、県の委託事業として、地場産業振興センター新館で「創造性」による維持可能な地域づくり—創造の場をつくりだすNPOの挑戦—をテーマにNPOフォーラムを開催します。地域・都市開発研究の第一人者である滋賀大学学長の宮本憲一先生に基調講演をいただいたり、県内外の有識者を招きパネルディスカッションを行う予定です。

活動費は、どう捻出されていますか。

佐々木 会員からの年会費（3000円）と、県や市からの委託事業費が活動財源です。

これからのNPOには「自立」が求められている

NPO発展の上で行政とのかかわりが重要な課題だと言われています。

佐々木 今後、まちづくりの分野でも、NPOは大きな役割を果たしていけるものと期待しています。福祉や環境などの分野も含め、NPOと行政とのかかわりは今まで以上に深くなっていくことでしょう。だからこそ、NPO法人にとっては「自立」が重要になってくると考えています。行政から言われたことを作業的にこなすのではなく、NPOが積極的にアイデアを出し、自分たちの目標に向かって進んでいくことが、行政との強いパートナーシップを築く第一歩だと思います。

今後の活動の方向性は。

佐々木 これからも年に1回はシンポジウムを開いていきたいですね。開催場所も金沢に限らず奥能登や白山麓など県内各地に広げていければと思っています。さらに今年度中にはホームページも立ち上げる予定で、全国の人たちに金沢や石川の魅力を発信し、市民レベルでのまちづくりへの関心を高めていこうと考えています。

P R O F I L E



佐々木雅幸
(ささき まさゆき)

金沢市泉野町在住。石川の文化を生かしたまちづくりを推進するため、平成7年、金沢創造都市フォーラムを設立。今年4月、NPO法人の認証を受ける。フォーラムの代表を務める一方、立命館大学政策科学部で教鞭もとっており、京都と金沢を行き来する忙しい毎日を送っている。元金沢大学経済学部教授。公職多数。

【お問い合わせ】 NPO法人 金沢創造都市フォーラム
金沢市長町1-3-40「i-ねと」内 TEL076(232)6673

※この冊子は再生紙を使用しております。

いしかわ

NPO

ニュース

[特集] 座談会

県NPO活動支援センター「あいむ」開設から1年。NPOの発展のため、今後担うべき役割を探る。

●INFORMATION
県からのお知らせ
NPO・ボランティア情報
助成金ニュース

●リーダーズVOICE
金沢創造都市フォーラム
佐々木 雅幸さん

つながる、
ひろがる、
ふれあう。



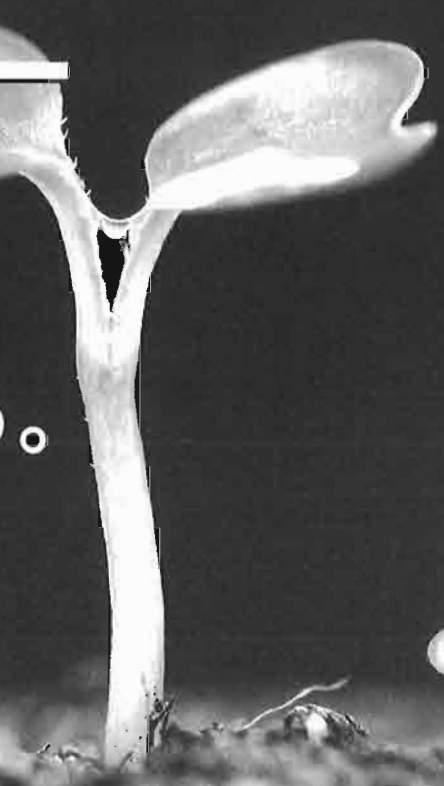
石川県

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

[特集] 座談会

県NPO活動支援センター「あいむ」開設から1年。NPOの発展のため、今後担うべき役割を探る。

県NPO活動支援センター「あいむ」が今年8月、開設から1年を迎えました。県内のさまざまなNPOにご利用いただく一方、より一層の機能の拡大も求められています。そこで、「あいむ」運営協議会副委員長の相川由美子さんと、NPO側の代表としていしかわ市民活動ネットワークセンター（i-ねっと）事務局長の青海康男さん、県内の育児サークルネットワークのアドバイザーを務める風っ子KIDS代表の橋 薫さんの3人に、「あいむ」設立により得られたメリットや同センターに今後期待する役割について語り合っていました。



NPO法人自立を促すサポート体制の強化を

相川 県では、平成12年8月に「NPO活動の促進に関する基本指針」をまとめ、県NPO活動支援センター「あいむ」は、その具体的な施策の一つとして昨年8月4日にオープンしました。この1年で5,000人を超える方々に、会議や作業、情報の受発信、交流・ネットワークなどの場として利用していただいています。

橋 私たちの育児サークルも会議を開いたり、コピー機を借りたりなど、「あいむ」はよく使わせてもらっています。特に、作業コーナーは会報誌を作るとき、本当に便利です。県内の育児サークルには約1000人の会員がいるので、会報誌の部数も1000部くらい必要になり、印刷機はよく利用しています。

青海 このほかにも、紙折り機や会議コーナーなどがあり、事務スペースとしての機能は十分に備えていると思います。ただ、今あるNPO法人は、

今後自立の道を探る段階に来ており、NPO中間支援団体である私たち「i-ねっと」にとっても重要な課題ですが、「あいむ」も自立を強力にサポートしていかなければ、発展を続けるNPOからの要望にそぐわなくなるおそれが出てくると思います。

橋 そうですね。例えば、県や市から助成金を受けるために、ある事業に応募しようとしても、その第一歩となる申請書類の書き方が分からないという団体も多いんですが、せっかく素晴らしいアイデアがあっても、それでは行政、NPOの双方にとってもったいない。「あいむ」がそういった点でもNPOにアドバイスできる存在になってくれば心強いですね。

相川 申請書類で、選考委員の印象は大きく違います。特に、直接のプレゼンテーションの場が設けられない場合は、委託されるかどうか書類一つで大きく左右されます。「あいむ」には、事業委託に関するお問い合わせや質問に対応できる相談員がいますので気軽に訪ねてください。

青海 資金に制限があり、活動の幅が限定されて

しまっているNPOも数多くあります。明確な活動指針を立てるためにも、「あいむ」や「i-ねっと」のような、支援団体に資金や活動方法など、何でも相談してもらえればと思います。

交流をはぐくむ場をつくる必要がある

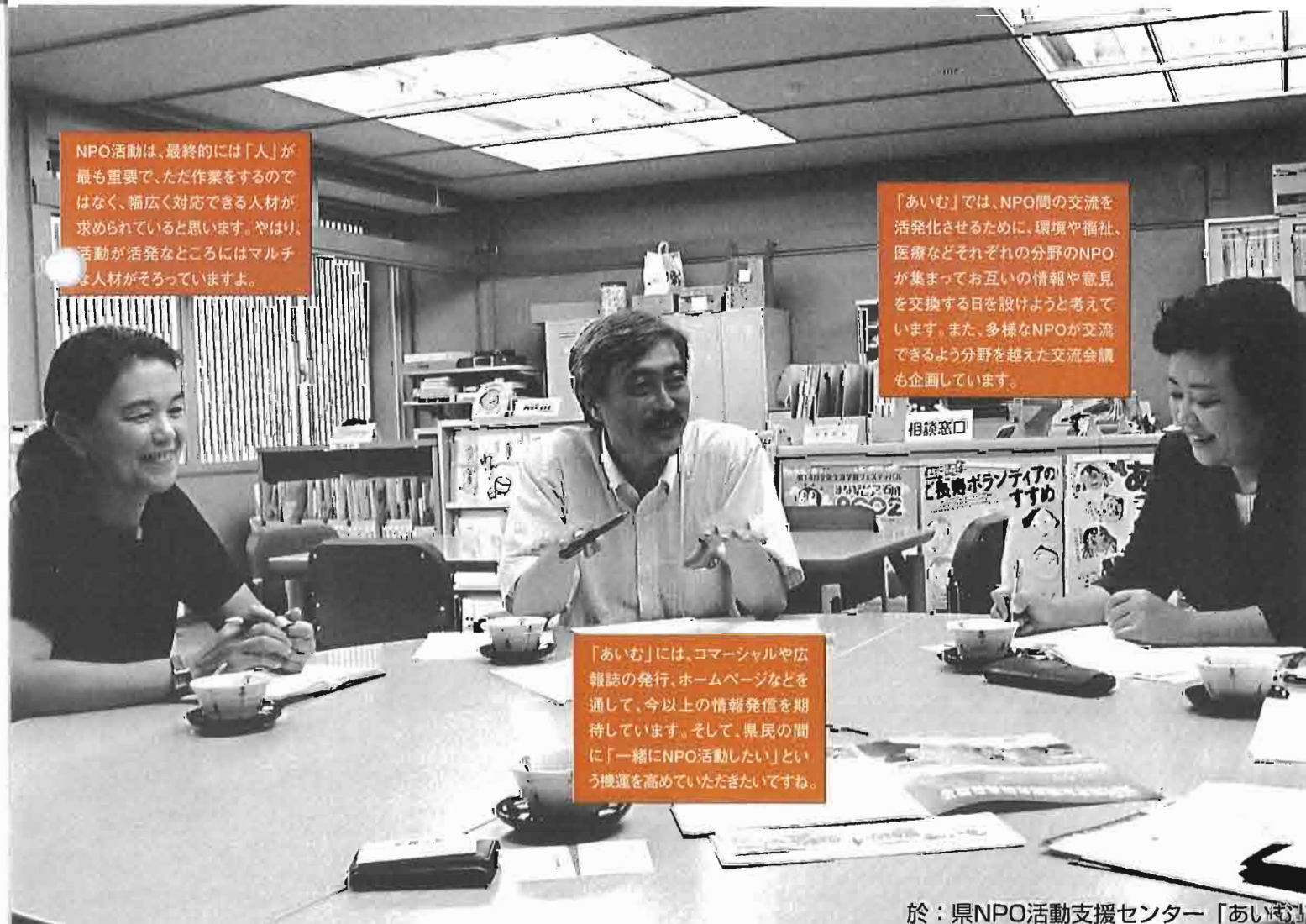
橋 NPO法人が自立するには、十分な活動費があるのはもちろん、NPOを取り巻く環境や今後の動向など、より多くの情報を得るために団体同士の交流が不可欠だと思います。

相川 作業コーナーや会議コーナーが活用されている反面、交流コーナーの利用率はまだまだ低く、その点は「あいむ」が抱える課題の一つです。

青海 県内のNPO法人も67団体（平成14年9月現在）に増えてきましたが、私はこれらの団体はまだ点と点の状態で、つながってはいない……つまり交流は希薄だと感じています。

相川 「あいむ」では、NPO間の交流を活発化させるために、環境や福祉、医療などそれぞれの分野のNPOが集まってお互いの情報や意見を交換する日を設けようと考えています。また、多様なNPOが交流できるよう、分野を越えた交流会議も企画しています。

青海 NPO同士の集まりの場を、「あいむ」が設定するのは非常にいいことだと思いますね。ほかにも、支援センターの場所やハードを県や市が用意し、その運営をNPOに委託し、交流をはぐくむという方法もあります。いわゆる公設民営の支援センターです。静岡県や岡山市、鎌倉市などにその先例があり、スキルアップや人材育成などNPO法人がいろいろな講座を企画して、NPOの技能向上や交流促進を図っています。このように、行政と民間が手を組むことで、広域的なサービスが可能になります。そのほかにも、大阪にはコミュニティビジネスなどのインキュベーション（ふ卵）機能を持った支援センターがあります。センター内には起業家やNPOの卵が数多くおり、そこで人



NPO活動は、最終的には「人」が最も重要で、ただ作業をするのではなく、幅広く対応できる人材が求められていると思います。やはり、活動が活発なところにはマルチな人材がそろっていますよ。

「あいむ」では、NPO間の交流を活発化させるために、環境や福祉、医療などそれぞれの分野のNPOが集まってお互いの情報や意見を交換する日を設けようと考えています。また、多様なNPOが交流できるよう分野を越えた交流会議も企画しています。

「あいむ」には、商業や広報誌の発行、ホームページなどを通して、今以上の情報発信を期待しています。そして、県民の間に「一緒にNPO活動したい」という機運を高めていただいています。

於：県NPO活動支援センター「あいむ」

的交流やスキルの交換が深まっているそうです。

橘 先日、さまざまな分野のNPO法人が小学校の旧校舎を拠点として活動しているのを東京へ行って見学してきました。いろいろな人が出入りするの、自然と交流が生まれているそうです。県内でも法人が大きいとか小さいとかは関係なく、積極的に交流していくべきでしょうね。交流会も、生きた情報を得るために定期的に続けていくことが大事だと思います。

積極的な情報発信が 県民のNPOの認知を広げる

青海 県民に情報発信することも「あいむ」が担うべき重要な役割だと思います。2年前に「NPO活動の促進に関する基本指針」ができたころは、「これからはNPOの時代だ」というような社会的機運が高まっており、人材育成セミナーの受講者は多かったけれども、最近では減少しています。

橘 県民の中で、「参加したい」という人と「関係ない」という人への二極化が進んでいるのですね。当時の参加希望者はセミナーを受け、NPO活動をスタートし、最近になって法人の認証も受け始めている—そんな段階に来ているのでは

ないでしょうか。NPOは関係ないと思っている人の中には、優れたアイデアや行動力を持った人が必ずいると思っていますのですね。

相川 あとに続く人たちを輩出するためにも、NPOを知らない、ないしはNPOに関心を持っていない人々へのPRが重要になってきます。NPOという言葉は知っていても、その中身については分からない人が確かに多いですね。

青海 「あいむ」には、コマーシャルや広報誌の発行、ホームページなどを通して、今以上の情報発信を期待しています。そして、県民の間に「一緒にNPO活動をしたい」という機運を高めていただきたいですね。

橘 積極的に情報発信することで、NPOの範囲が本当に幅広いということも分かってもらえますしね。その中から自分に合った活動を始めたいという人もきっと出てくるはずですよ。

相川 現在、活動中のNPO法人の中身を詳細に伝えることも、県民の認知を広げることにつながると思います。例えば、県の委託事業の成果を公表する場を設けるなど。

青海 企業と連携している事例なども紹介できればいいですね。しかし、詳細な情報を伝えるために不可欠な各NPO団体のデータが、不足しているという問題があります。「i-ねっと」では、県内のNPO法人にセミナーの案内などを送るのですが、所在地が変わっていて封書が戻ってくるケースがあります。各団体は事務所機能の有無や専任のスタッフがいるかどうか、収益などの情報を支援組織に開示することが大切ですよ。そうすることで、彼らにどのような事業を委託できるかや、支援する際の方向性がつかみやすくなります。「あいむ」には、アンケートなどを実施して、データベースの充実を図り情報交換の窓口になってほしいですね。

連続セミナーで 即戦力となる人材の育成を

橘 NPO活動は、最終的には「人」が最も重要で、ただ作業をするのではなく、幅広く対応できる人材が求められていると思います。やはり、活動が活発なところにはマルチな人材がそろっていますね。

青海 良い人材を育て、このような団体を増やすためにも、「あいむ」主催の連続した人材育成セミナーを開催してはどうでしょうか。人や組織の

つくり方、企画の立て方など単発のセミナーでは十分に指導することのできない内容でも連続セミナーならば盛り込めます。しかも、1回の講義は1時間から1時間30分ほどにし、同じ内容のセミナーを昼と夜の2回開いたり、期間を少しずつずらすなどすれば、普段は忙しくて参加の難しい会社員や主婦も自分の都合のいい時間を選択して受講できます。

相川 セミナーを上級編と初級編という風にコースを分けるのもいいかもしれませんね。

橘 初級コースがあると一般の人でも気軽に参加できるので、すそ野の拡大にもつながりますね。そして、セミナーでNPOの現場で即戦力として活躍できる人材が育てば、その中からきっと新世代のNPOのリーダーも生まれます。自発的に行動でき、いろいろな知識を身に付けた人材が各地域にいれば心強いですよ。

青海 石川県のNPO法人数は先ほど言ったように67団体あります。北陸3県の中では一番多いのですが、人口割合やNPOが法制化されてから2年以上経っていることを考えると、100法人くらいあってもいいと思っています。「あいむ」主催のセミナーの卒業生が、新たな法人をつくっていく流れを創出できればいいですね。



■青海 康男 さん(あおみ やすお)

いしかわ市民活動ネットワークセンター
(i-ねっと) 理事・事務局長
「i-ねっと」は、NPOで活躍できる人材の育成に力を注ぐ民間のネットワークセンター。平成12年10月、NPO法人の認証を受けた。同法人の事務局長である青海さんは、金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクターを務めた後、現在は金沢ドラマワークセンターの代表として県内の舞台演劇の発展にも努めている。

協力団体との連携を図り「あいむ」 のさらなる機能向上を目指す

橘 NPO自身も、人をまとめるリーダーにも悩みはあります。それは、相談相手がないということですよ。分野別に中間支援組織があれば、専門的な相談ができますし、各グループが持っている情報も孤立化しません。その上、分野別のニーズも把握できます。「あいむ」には、リーダーの相談相手を務めてほしいと思います。

青海 私たち「i-ねっと」もNPOを支援する立場にあり、「あいむ」とより良い協力関係を築き、困っているNPOに人や資金、モノなどを提供できる支援組織を目指していきます。また、県内のNPOには時代のテーマをいち早くつかんで、先進的な事業を進めていってくれることを期待しています。

相川 開所から1年と、「あいむ」の活動は始まったばかりで、いろいろ工夫する点も多いかと思いますが、今後も、NPOの皆さんをはじめ協力団体の方々との連携を強化し、「あいむ」の使命である県民へのNPOの啓発などに全力を注ぎ、皆さんと一緒に成長していければと考えています。



■橘 薫 さん(たちばな かおる)

育児サークルネットワークアドバイザー
金沢市近郊の育児サークルのリーダーに運営をアドバイスしたり、保育士としての経験を生かし育児の勉強会を開催している。双子、三つ子の育児サークルである風っ子KIDS代表を務める一方、今年4月からは育児の手助けを求めると支援できる人との橋渡し役を担う子育て生活応援団の団長として活躍中。



■相川 由美子 さん(あいかわ ゆみこ)

石川県NPO活動支援センター運営協議会副委員長
福祉・ボランティアの立場から運営協議会委員に就任。県社会福祉協議会ボランティアセンター所長として県内の各市町村と連携して、地域福祉を総合的に推進し、安心して暮らせるまちづくりを目指して活動を展開している。

INFORMATION

県からのお知らせ

平成14年度NPO協働推進モデル事業の採択事業の決定について

県が、行政とNPOの協働を推進するため、NPOから事業企画を公募したNPO協働推進モデル事業について、応募のあった26件の中から採択事業を決定しましたので、次のとおりお知らせいたします。

- 福祉/非営利活動市民団体はづちを(加賀市)高齢者によるコミュニティレストラン開設事業
NPO法人菜の花(金沢市)絵本や紙芝居による幼児の痴呆性高齢者へのいたわりの心を育む事業
- 環境/石川県くらしと環境を考える会(金沢市)地球環境サミットの取材及び地域啓発
- 教育/子ども夢フォーラム(金沢市)チャイルドライン・いしかわ設置運用事業
- 男女共同参画/石川おんなのスペース(金沢市)DV劇の公演等によるDVのないまちづくりを考える事業

NPO全国大会等への参加経費を助成します

県内のNPO(市民活動団体、ボランティア団体又はNPO法人)の関係者が、平成14年度に国内において全国規模で開催されるNPO関係のフォーラムやシンポジウム等に参加するために要する経費の一部を県が負担いたします。

詳細については、下記までお問い合わせください。

石川県NPO活動支援センター
〒920-0964

金沢市本多町3-2-15
石川県社会教育会館4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
E-mail npo@pref.ishikawa.jp
担当 岩城、奥

第14回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア石川2002」開催

「まなびピア石川2002」では性別や年齢にかかわらず、趣味やいきがいに励む人や、これから何かを始めたいと思っている人を応援する様々なイベントを企画しています。

主会場では、楽しく学ぶことのできる情報や生涯学習への取り組みなどを紹介する「生涯学習見本市」、工作や遊びなど多彩な体験の場を提供する「体験教室」、楽器演奏やダンスなどの日頃の成果を発表する「ステージ発表」など様々な生涯学習活動を紹介し、賑やかに実施します。また、開催地の6市町でも、それぞれ地域の特色を生かした事業を展開します。ぜひ足を運んでみてください。

●開催期間/平成14年10月10日(木)~10月14日(月)

●主会場/石川県産業展示館

●開催地/金沢市、七尾市、小松市、輪島市、松任市、野々市町

第14回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局
お問い合わせ先 〒920-0962 金沢市広坂1丁目7番1号
TEL 076-223-5180 FAX 076-223-5182

地域づくりよろず長屋

~地域づくりシンポジウムいしかわ2002 in 尾口~

地方分権の推進に伴う住民主体の地域づくり活動の重要性が

高まってきている中、地域において様々な地域づくり活動に様々な立場から取り組んでいる方々が一堂に会し、地域づくりに関する課題等を共に考え、討論することによって、今後の住民と行政及び企業との連携が図られた石川らしい地域づくりの推進に寄与することを目的として地域づくりシンポジウムを開催します。

●開催日/平成14年11月16日(土)
●開催場所/石川郡尾口村字瀬戸卯43-3 「かんぼの郷白山尾口」

●プログラム内容/
①分科会 少人数で分科会を開催
②全体会 主催者挨拶、分科会報告、まとめ等
③交流会

●主催/石川県、石川県地域づくり推進協議会

お問い合わせ先 石川県地方課振興係
TEL 076-223-9058 FAX 076-223-9486

第12回全国ボランティアフェスティバルいしかわイベント

●日時/平成14年10月6日(日)10:00~16:00

●会場/石川県産業展示館 2号館

●ステージ/10:10~ オープニング(美由紀座太鼓演奏)
10:30~ 開会式典
11:30~ トークショー/ゲスト 森脇健児
13:00~ ボランティア団体による演奏会
14:30~ 子どもボランティア発表会

●ふれあい体験コーナー/車椅子介助体験、高齢者疑似体験、点字クイズなどをします。

●スポーツコーナー/ディスクゴルフなどを行います。
このほか、ボランティア団体活動紹介コーナーや絵画展コーナーを設け、多彩な作品を展示します。

第12回全国ボランティアフェスティバルいしかわ実行委員会事務局
〒920-8557 金沢市本多町3-1-10(県社会福祉会館内)
TEL 076-223-7755 FAX 076-223-7720
URL <http://www4.nsk.ne.jp/ishikawavf12/>

お問い合わせ先

NPO・ボランティア情報

ボランティア意見交換会の開催

地域のボランティア団体の代表が情報や意見を交換することにより、団体間の交流を深め、ネットワークづくりを行うため、次のとおり意見交換会を開催します。

●開催日及び場所/
中能登地区 平成14年11月30日(土) 午前
七尾勤労者総合福祉センター
奥能登地区 平成14年11月30日(土) 午後
のとふれあい文化センター(穴水町)
加賀地区 平成14年12月1日(日) 午前
小松市民センター
金沢地区 平成14年12月1日(日) 午後
県地場産業振興センター

※参加ご希望の方は、次までお問い合わせください。

(財)石川県県民ボランティアセンター
(石川県NPO活動支援センター内)
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
担当 押田、吉川

お問い合わせ先

NPOスタッフ養成講座&なんでも相談会

NPOのリーダーや会員のみなさんを対象として、事業の運営や企画、情報発信などを題材としたスタッフ養成講座を県内3地域(加賀、金沢、能登)で開催します。

また、県内各地で開催予定のNPOなんでも相談会では、会計、雇用、法人化など、NPOが抱える諸問題について、専門相談員がお答えします。

受講・相談は無料です。

日程等、詳細については、下記までお問い合わせください。

いしかわ市民活動ネットワークセンター(い-ねっと)
〒920-0865 金沢市長町1-3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
e-mail i-net@npo.or.jp
URL <http://www.npo.or.jp/center/i-net/>

お申し込み
お問い合わせ先

インターネット講習会ボランティア講師養成講座

あなたのインターネットの知識や技術を、「初心者向けインターネット講習会」の講師となって活かしてみませんか。インターネットの基本操作を教えるノウハウを学び、楽しい講習会づくりにぜひご参加ください。

●日時/平成14年11月18日(月)・19日(火) 各日10:00~16:00
●場所/(株)ソフトウェア研修開発センター(金沢市戸水町)
●対象/インターネット及びパソコン操作のできる女性20名
●申込/往復ハガキに「住所・氏名・電話番号」を明記のうえ、下記までお申し込みください。(平成14年11月5日(火)必着)

(財)いしかわ女性基金 講師養成講座係
〒920-0861 金沢市三社町1-44
(石川県女性センター内)
TEL 076-234-1112

お申し込み
お問い合わせ先

助成金ニュース

【コメリ緑資金 緑化活動助成】

●助成対象/緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした、公共性のある緑化活動に助成いたします。なお、助成金の贈呈先は法人・団体に限らせていただきます。個人でのお申し込みは出来ませんのでご了承下さい。

●助成金総額/2,500万円

●公募期間/毎年8月1日~10月31日

●お申し込み方法/以下の書類を事務局まで郵送するか、コメリ各店までご持参下さい。

●「コメリ緑資金助成金申込書」(専用紙が事務局又はコメリ各店に備えてあります)
●審査参考資料(企画書・予算書・写真等、形式は自由です)

「コメリ緑資金」事務局
〒950-1492 新潟県白根市茨曾根4453-1
株式会社コメリ事業本部内
TEL 025-371-4112 FAX 025-371-4151
E-mail midori@komeri.bit.or.jp
URL <http://www.komeri.bit.or.jp/>

お申し込み
お問い合わせ先



当センター「あいむ」は、昨年8月の開設以来、早いものでもう1年が経ちました。この間、たくさんの方々にご利用いただき、ありがとうございました。今後も、皆さんの交流及び情報の受発信の拠点として、なお一層、使い勝手の良いものにしていきたいと考えています。

当センターに設置しております「ご意見箱」への投書をはじめ、電話、FAX、Eメール等、何でも結構ですので、皆様のご意見、ご要望をお寄せください。お待ちしております。

【ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成】

●対象/民間非営利組織(法人格等は問わない)が行う、住まいとコミュニティづくりに関する下記7項目の活動

- [1] 探検・点検型の活動
- [2] 施設の提案・創造型の活動
- [3] 住環境の保全・整備型の活動
- [4] 自然の保護・活用型の活動
- [5] 入居者参加の住まいづくりをめざした活動
- [6] 集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした活動
- [7] その他の活動

●助成金額/1件当たり原則として100万円を上限として、総額1,000万円を予定

●事業期間/2003年4月1日より2004年3月31日までの1年間

●募集期間/2002年10月1日(火)~12月2日(月)
(12月2日必着、12月1日までの消印有効)

財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
〒107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5F
TEL 03-3586-4869 FAX 03-3586-3823
URL <http://www.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/>

お申し込み
お問い合わせ先

「あいむ」からのお知らせ

●本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。
お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

INFORMATION利用案内

- 本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要(企画書、チラシ等)を郵送、ファクシミリ等でお送りください(その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください)。
- ファクシミリの場合は、送信後かならず着信の確認をしてください。
- 政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。
- 誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
- 掲載料は無料です。
- 送り先: 石川県NPO活動支援センター「あいむ」
〒920-0964 金沢市本多町3-2-15 石川県社会教育会館4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
担当/岩城、奥

石川県NPO活動支援センター

「あいむ」

〒920-0964 金沢市本多町3-2-15
石川県社会教育会館4階
TEL 076(223)9558 FAX 076(223)9559

<http://www.ishikawa-npo.jp>
Eメール npo@pref.ishikawa.jp

